

一本化した新たな団体の設立は

町長「予定している実行委員会が相当か」

議員 水環境保全にかかる学習活動促進のための団体について、次の3点をうかがう。
 ①現在どのような団体があるのか。
 ②その団体の活動内容について。
 ③町内を一本化した新たな団体を設立する考えはないか。

町長 水環境保全は、特定の者が取り組むというよりは、町全体としてその認識を持って、町民協力のもとで各般の取り組みが、進められるべきであると認識している。

度内に設立する。この実行委員会が、今後の水環境保全にかかる全体的な組織に発展する可能性を含んでいると認識している。

今後のプロジェクト事業推進は

議員 これまで、まちづくり戦略プロジェクト事業を推進してきたが、一定の効果が現れていると感じる。今後、人口減少や主力作物である米の問題などについて、町職員以外のメンバーも加えてプロジェクト事業を行う考えはないかがう。

町長 現在、策定を進めている「第2次美郷町総合計画」に基づき進める。計画構想を

①町で把握している団体は、土崎自治会・北小屋ボランティア・トゲウオを守る会・大畑自治会・天神堂行政区の5団体と、清水周辺環境保全事業実施モデル団体である、宝門町町内会・大町清らか四水会・清水愛護会・古町町内会の4団体がある。
 ②イバラトミヨやホテルなどの、生息環境の保全や清水内の堆積物の撤去、清水周辺の清掃活動などである。
 ③平成28年度に湧水保全フォーラム全国大会の開催を予定しており、実行委員会を27年



久米清水



岡田家清水

3月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇農協改革に関する請願書（全員賛成）

秋田おばこ農業協同組合 代表理事組合長 藤村 正喜 他1名
 紹介議員(注1) 熊谷隆一、杉澤隆一

請願理由 政府は農協改革の推進を決定した。これに対しJAグループは、組合員の意思に基づく自己改革に取り組むこととし「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として農業所得増大、地域の活性化に取り組むことが基本方向であると結論づけたので、政府に対し請願事項について働きかけをお願いする。

(注1) 議会に請願書を提出する場合は議員の紹介がなければなりません。「紹介」とは請願の内容に賛意を表し、議会への橋渡しをすることです。

◇最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情（全員賛成）

秋田県春闘共闘懇談会 執行委員長 中村 秀也 他1名

◇労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求める陳情（全員賛成）

秋田県春闘共闘懇談会 執行委員長 中村 秀也 他1名

◇介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の処遇改善をめざす陳情（全員賛成）

秋田県春闘共闘懇談会 執行委員長 中村 秀也 他2名

不採択としました

◇「集団的自衛権行使を容認した閣議決定に反対し、撤回を求める意見書」の採択等を求める陳情書（採択4人 武藤議員・泉(美)議員・細井議員・飛澤議員：不採択13人）

秋田弁護士会 会長 加藤 謙

◇集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める陳情書（みなし不採択）(注2)

秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

(注2) 同一会期中に同一趣旨の陳情等が議決されている場合、既になされた議決の結果により、「不採択」とみなして処理する取り扱いです。

〈総務常任委員 長報告〉
 中村委員長
 昨年の12月定例会でも同様の陳情を不採択としており、内容が変わらないので、不採択とすべきものとした。

〈採択意見〉
 泉(美)議員
 住民の平和的生存権を守り立憲主義を堅持するため、この陳情は採択すべきである。

◇沖縄県名護市辺野古新基地建設工事の中止を求める陳情書

(採択3人 武藤議員・泉(美)議員・飛澤議員：不採択14人)

秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

〈総務常任委員 長報告〉
 中村委員長
 辺野古への移設はすでに動きだしており、不採択とすべきものとした。

〈採択意見〉
 泉(美)議員
 基地建設中止を求める沖縄県民の願いにこたえ、この陳情は採択すべきである。



熊谷 隆一 議員